令和７年度

幼稚園だより　１月号

文京区立千駄木幼稚園

『やってみよう』という心の芽　　園長　　篠澤　恵理

新しい年を迎え、園舎の裏にあるビワの木には、小さな花が咲きました。サヤエンドウは、例年よりも早く昨年末から花が咲き、実をつけ始めています。冬から春に向けての自然の変化を子どもたちと一緒に見付けるのが楽しみです。

さて、３学期の始業式では、「新しい１年が始まり、皆さんの心の中には、『やってみよう』という心の芽が育ってきている」「『やってみよう』を続けていくと、次の学年の気持ちに近付いていく」という話をしました。この節目に、子どもたち自身が、自分から考えながら行動しようと思えるように願っています。

子どもたちの心にある『やってみよう』という芽を育てていくためには、この節目に今までやってあげていたことを見つめ直すことも必要です。子どもが自分からやってみたくなる環境を整えたり、手や声をかけすぎないように支えたりしていきたいものです。

子どもたちが植えたチューリップや水仙の芽も、寒さに負けずに一日ごとに大きくなってきています。太陽の光は、花々をそっと温めながら見守っているように見えます。プラスの声掛けを積み重ねながら、子どもたちが自ら伸びようとする力を呼び起こしてまいりましょう。春に向けて、一人一人の成長もまた楽しみです。

３学期は、月日が過ぎていくことを今まで以上に早く感じます。登園から降園までの限られた時間を大切に過ごせるよう、教職員一同、子どもたちのために力を尽くしてまいります。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

【カブの収穫】

【もちつき会】